

神戸市灘区の温泉銭湯入湯記（2011年9月23日）

——6000円で行く大阪近郊のミニ温泉旅行——

高橋 祐次

灘区は、神戸市の東部に位置しており、北には摩耶山や六甲山が控えています。西から西郷川・都賀川・石屋川の三つの河川が流れています。この川を横切るように北から阪急電鉄神戸線・JR 東海道本線（神戸線）・阪神本線が走っています。阪急六甲駅・JR 六甲道駅・阪急石屋川駅の駅周辺には、現在4軒の温泉銭湯があり、良質の温泉を提供しています。

今回、4軒の温泉銭湯のうち、以前に入湯した六甲おとめ塚温泉以外の3軒に入湯するために自宅のある近鉄奈良線東花園駅から神戸方面に向かうため電車に乗りました。鶴橋駅でJR 環状線に乗り換え大阪駅へ、大阪駅でJR 神戸線に乗り換えて、六甲道駅で下車しました。1時間余りの乗車時間で、運賃は790円（東花園～鶴橋250円、鶴橋～六甲道540円）。

最初に入浴する銭湯は「灘温泉六甲道店」。JR 六甲道駅（写真①）は高架駅になっており、灘区を中心市街地で、灘区役所・図書館などの公共施設の他、ダイエーグルメシティやショッピングビル、大きな商店街、大学・高校もあり、静かな街並みでありながら活気に満ち溢れています。灘温泉六甲道店へは、ダイエー側の前の通りを南に向かって進み、セブンイレブンのある交差点の一つ先の交差点を左折したところに位置しています。鉄筋コンクリートの重厚な建物（写真②）で、裏手に専用の有料駐車場が設けられています。

入浴料は、兵庫県の公衆浴場料金の410円、サウナ入浴利用の場合は貸サウナタオルと貸湯上り用バスタオル付で、560円と大変良心的な価格設定になっています。その上、銭湯でありながらボディソープとリンスインシャンプーが備え付けられているのは驚きです。因みに駐車料金は、銭湯利用者には3時間無料になっているので、入浴のみなら十分な時間だと思います。ロビー（写真③）のカウンターで入浴料を支払い、早速、脱衣所に入りました。

浴室は2層式になっており、1階には源泉浴槽・温泉浴槽（加温）・ジェットバス・電気風呂等。2階は温泉露天風呂・打たせ湯・遠赤外線サウナ・水風呂が設けられています。泉質は、溶存物質合計が1641 mg/kg のナトリウム-炭酸水素塩・塩化物温泉で、源泉温度が32度と温泉分析表に表示されています。

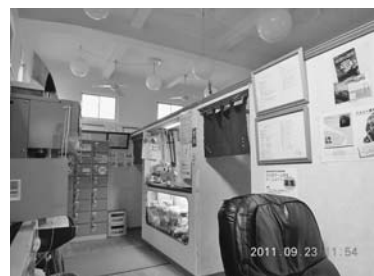
1階の浴室に入った奥に小さな源泉浴槽があり、入浴していると身体に気泡が纏わり付くの



写真①



写真②



写真③

がわかります。大人2人入るといっばいの浴槽なので、気持ちよく入浴できる半面、いつまでも独占するわけにいかないのが、ゆっくりと源泉浴槽を楽しめないのが少し残念でした。銭湯でありながら、良質の温泉を低価格で提供しているからこそ、入浴客が昼間から多いのも頷けます。一般的な銭湯は午後3時からが多いのですが、ここは午前6時～翌1時の長時間の営業になっています。出勤前に朝風呂という贅沢な入浴も楽しめます。

十分に入浴を楽しんで、銭湯を出たのがちょうど昼時だったので、軽い食事が摂れる店を探しました。銭湯から通りに出て、少し歩いたところに『権太呂すし』(写真④)という、低料金で本格すしが味わえる寿司屋を見つけました。持ち帰り弁当の本家かまどやが運営しており、殆どのすしが一皿126円で食べることができます。店頭のお品書きを見ると、ランチメニューもあるようなので、入店することにしました。

止まり木が、10脚程度ある狭い店舗で、カウンターに熱湯が出る蛇口や粉茶・ガリが置かれているのは回転すしそのものです。アルコールやおつまみも注文することができますが、今回は、ランチメニューの並にぎりセット(8カンと赤だし味噌汁付630円)と貝3種盛(赤貝・つぶ貝・ほたて252円)を注文しました。お会計は882円。手頃な価格で本格的なすしが食べられる。ちょっと小腹が空いた時に気楽に入れる店で、これからファンになりそうです。食後は、ぶらぶら街並みを散歩しつつ、次に銭湯を目指しました。

次は温泉銭湯「篠原温泉」。ガイドブックによると、阪急六甲駅徒歩8分の場所にあるようです。駅の高架下を潜り、六甲山を目標になだらかな坂道を北へ向かって歩きました。六甲駅からは線路に沿って西に向かって歩き、広い通りに出たので左折しました。角の電柱に掲げられている番地を見ると、「篠原南町1丁目」になっています。篠原温泉は4丁目なので、当たりを付けながら周辺を徘徊すると、通りの角にある篠原温泉(写真⑤)を見つけることが出来ました。

2階建ての銭湯で、敷地内には有料の足湯(写真⑦)も設けられています。10人程度が1度に利用できる細長い足湯で、利用するには入口の木箱に20円を入れる仕組みになっています。幸運にも本日は秋分の日で祝日。この足湯は土日祝日の午前11時から午後5時までの営業で、平日は入口がフェンスで閉じられているようです。誰も入っていなかったので、「入浴料20円入れま〜す」と小さく独り言を言って10円2枚を木箱に入れてから、足湯を利用しました。道路に面しており、車や人の通行量も多いので少し恥ずかしかったのですが、10分程浸かっていました。

この篠原温泉の入口の左側には、ここの温泉分析表(写真⑥)が掲示してあります。一般的には、脱衣所



写真④



写真⑤



写真⑥



写真⑦



写真⑧



写真⑨



写真⑩

か浴室に掲示してあることが多いのですが、建物の外に掲示してあることは珍しいです。食品のパッケージの裏には原材料名が書かれており、それを判断して購入するのが普通ですが、一般の温泉施設では、入浴料を払ってからでないとわからないことのほうが多いようです。その点、温泉業界は情報公開という部分では後れをとっているように思われます。その分、このように堂々と温泉分析表を掲示してあるところを見るに、この温泉が良質であることの証なのでしょう。期待感が膨らみ、早速入館することにしました。

フロントで、入浴料 410 円（兵庫県の公衆浴場料金）を支払い浴室へ。脱衣所は瓦屋根を施した和風の内装で、8 年前に改装したときに模様替えしたのだそうです。浴室のドアを開けると目に飛び込んでくるのが、小さな源泉浴槽（写真⑧）、改装した時に造られたもののようです。内湯には、八角形の主浴槽（写真⑨）が浴室の真ん中に鎮座しています。奥には、ジェットバスや電気風呂が設けられています。温泉浴槽（写真⑩）は、奥の扉を開けた先にあります。源泉温度が 31 度のナトリウム-塩化物・炭酸水素塩泉で、天上の幕が開閉式になった露天風呂になっています。当然、加温されていますが、31 度の源泉が絶えず供給されているので、新鮮な温泉を楽しむことができます。

また、ここの銭湯の良さは、源泉浴槽の大きさです。源泉の供給量を考慮した浴槽なので、源泉の良さを損なわずに絶えず肌に心地よさを与えてくれています。他に、露天にはサウナ室と水風呂も置かれています。灘温泉と異なり、サウナ入浴も入浴料に入っています。シャンプーやボディソープの備え受けはありませんが銭湯なので当然でしょう。何ととっても気持ち良いのは、源泉風呂。この残暑きびしい時期の 31 度源泉入浴は何とも言えない至福の一時です。この時間帯、入浴客は少なかったので、思う存分、この源泉浴槽を楽しみました。

ロビーには、生ビールやおつまみ、ソフトクリーム等の喫茶程度のものを注文することが出来るカウンターがあります。自宅の近くにあってほしい温浴施設の 1 つです。

篠原温泉の前の通りを西に向かって真っすぐ歩いて行くと、何だか人通りが多い場所に行き



写真⑪



写真⑫

着きました。商店街（写真⑪⑫）のようです。アーケードの看板には水道筋商店街と書かれています。東西に長く伸びた商店街で、500 店舗もの店が軒を連ねているのが圧巻です。神戸市内でも名高い商店街の 1 つでもあるようで

す。

そして本日最後の温泉銭湯は、商店街の手前にある灘温泉六甲道店の姉妹店である灘温泉水道筋店。アーケードのある商店街よりも 100 m 程手前の左手にあります。ここの銭湯は散策やスポーツした後でしょうか、銭湯の前は、入浴客でたいへん賑やかです。まだ、篠原温泉での入浴で身体が火照っているので、しばらく商店街を散策することにしました。

とりあえず、アーケードのある一番奥まで散策して戻ってきました。あらゆる業種の店舗があり、ここを回っただけで日常生活に必要なものをすべて調達できる商店街です。

この長〜い商店街を無事一往復して、ようやく灘温泉水道筋店（写真⑬）に入ることにしました。すでに 2 湯も入っているので、多少疲れ気味なのですが、せっかく神戸に来ましたので止めるわけにはいきません。ちょっとその前に観音様にお参りにすることにしました。

この水道筋店入口の左手には何故か観音様（写真⑭）が祀られています。この観音様は「さすり観音」と呼ばれているらしく『お身体のつらいところと同じところを源泉でぬらした布で想いを込めてさすってください』と書いてあります。観音様の足元にはタオルが 1 枚置かれており、このタオルを右手にある源泉に浸してさするようです。因みにこの温泉は飲料に適していないようですが、ペットボトルに入れて持っていかれる方を見かけました。

灘温泉水道筋店も公衆浴場料金なので 410 円支払って脱衣所へ。ここの銭湯は利用客も多いし 2 つの銭湯に比べて若干広めの造りになっています。入浴したのが午後 3 時過ぎ、脱衣所は人で溢れていました。服を脱ぐにもお互いの身体が触れそうな間隔になっている状態です。祝日とはいえ、これだけの入浴客がいる銭湯は私の記憶にはありません。

浴室の入口には、「源泉かぶり」が設けられています。本来、この場所にあるのは掛け湯ですが最後にかぶることで温泉成分が肌に残って効能が持続するように上がり湯になっています。内湯には、加温された温泉浴槽、その隣が源泉浴槽、奥にはジェットバス・打たせ湯・電気風呂の白湯になっています。露天には、加温された温泉岩風呂・水風呂・有料の備長炭式遠赤外線サウナがあります。それぞれが 10 人以上入れる広さの浴槽なので、源泉浴槽で他の入浴者に気兼ねせずに長湯できるのがうれしいです。

温泉分析書によると、ここの温泉の溶存物質計が 1488 mg/kg のナトリウムー塩化物・炭酸塩素温泉、源泉温度は 34 度の中性の温泉。六甲道店よりも溶存物質計が少ないのですが、泉質面では塩素イオンのミリバルの構成比が高い温泉になっています。さすが神戸の浴場だけに外国の方も気持ち良く入浴しています。私は入浴時間の大半をこの源泉浴槽に浸かっていましたが、身体が冷えてくると加温の浴槽に入り、身体が温まると源泉浴槽に入るのを繰り返しながら温泉を楽しみました。ロビーは広く、飲食用のテーブルも幾つか置かれています。隅にあ



写真⑬



写真⑭



写真⑮



写真⑩

るガラスケース（写真⑩）には、温泉掘削時に採取した岩石や土を10m単位でカプセルに入れて展示してあります。ロビーでしばらく休憩してから、出ることにしました。

温泉銭湯3湯入湯で喉も渴いたので、ちょっと一杯やっ
てから帰ろうと思い、先ほど商店街を散策した時に確認して
おいた大衆居酒屋「正宗屋」（写真⑩）に入りました。大阪
では有名な低料金で飲める店ですが、神戸にあるとは思って
いませんでした。カウンターだけの店で、厨房はお世辞にもきれいとは言えませんが、串に刺
された牛すじのどて焼きは何とも食欲をそそってしまいます。ビール大瓶500円、焼酎水割
り300円、どて焼き2串350円2皿、揚げだし豆腐350円、いかゲソ塩焼き3串350円しめ
て2200円成。ほろ酔い気分で店をでました。そして商店街の先にあるJR灘駅で神戸線に乗
り、大阪駅～鶴橋駅経由で自宅に戻りました。

大阪に赴任して丸3年が経ちますが、遠出しなくても、近くに良質な温泉がたくさん点在
しています。温泉3分の1、街ウォッチング3分の1、お酒3分の1のような旅行記ですが、
すばらしい温泉銭湯でしたので紹介させてもらいました。

（使ったお金）

近鉄東花園駅～JR六甲道駅	790円
灘温泉六甲道店入浴料	410円
権太呂すし昼食	882円
篠原温泉足湯	20円
篠原温泉入浴料	410円
灘温泉水道筋店入浴料	410円
正宗屋	2200円
JR灘駅～近鉄東花園駅	870円
計	5992円

[灘温泉六甲道店]

兵庫県神戸市灘区備後町3-4

電話 078-854-6545

[篠原温泉]

兵庫県神戸市灘区篠原南町4-1-1

電話 078-881-8080

[灘温泉水道筋店]

兵庫県神戸市灘区水道筋1-26

電話 078-861-4535